

ご挨拶

産業経営研究所長 小林 俊 治
早稲田大学商学部教授

暮れのお忙しいところ、当研究所のアカデミック・フォーラムにご出席くださりましてありがとうございます。早稲田大学産業経営研究所は、当大学における産業経営に関する研究の中心的な機関として、1974年に設立されました。それから23年間にわたってさまざまな研究を推進してきております。現在は、19のプロジェクトチームがありますが、それらは「産業経済の国際化と日本の進路」と「日本的経営システムに関する学際的研究」という2つのグループに分けられます。鶴飼信一教授は、現在、「日本的経営システムと中堅・中小企業」というプロジェクトのリーダーになっております。

本日のアカデミック・フォーラムは第2回目ですが、第1回目は、「21世紀企業の戦略と組織—新しい研究パラダイムの台頭—」というテーマで行いました。ご案内のように今回は「首都圏工業の空洞化を考える—集積活性化へ向けて—」という非常に興味深いテーマで活発な議論がなされることを期待しております。

このフォーラムの開催趣旨は、プログラムにもありますように、商学部教員である若手兼任研究員にコーディネーター役をお願いし、他大学の先生方や実務家の皆様をお招きして、各専門分野の最新の問題を議論していただき、学界、実務界に貢献することにあります。

今回のテーマそのものについては、これから鶴飼教授を中心に議論されますので、私はとくに申し上げることはいたしません。このフォーラムの開催を可能に頂きました鶴飼教授、講師の先生方、またご出席の皆様方、大和銀行、マーケティング・デザイン研究所、および早稲田大学に心より感謝申し上げます。